

「インタッチ」一年の歩み

平成23年

3月11日

東日本大震災 発災

12日

「東日本大震災 視覚障害被災者支援ネットワーク インタッチ」発足

3月20日～23日

インタッチ第1次支援隊 派遣（宮古市で安否確認・調査・支援）

25日

第1次支援隊 報告会（於 JBS 曾根崎研修所）
NHK「きらっといきる」に川越利信が生出演し、第1次調査・支援活動の報告を行う

4月5日～9日

インタッチ第2次支援隊 派遣（宮古市・釜石市・大船渡市で安否確認・調査・支援）

25日

JBSが「みやこさいがいエフエム」の番組を放送開始

5月17日～19日

インタッチ第3次支援隊 派遣（宮古市・大船渡市・陸前高田市・花巻市で防災ラジオを配布）

31日

「清水ただしの派遣村TV」に川越利信が出演

6月5日

「第12回日本ロービジョン学会学術総会」で川越利信が講演（於 北九州国際会議場）

11日

「NPO法人タートル通常総会」で川越利信が講演（於 東京・社会福祉法人日本盲人職能開発センター）

18日

「救援・復興と原発からの撤退を求める府民フォーラム」で川越利信が講演（於 大阪市・此花会館）

8月27日～28日

「日本福祉のまちづくり学会」で川越利信が講演。同学会ではインタッチの活動を紹介する展示も行う（於 堺市・国際障害者交流センター）

9月11日

すまいる会講演会「災害弱者と町づくり」で川越利信が講演（於 豊岡市・公立豊岡病院日高医療センター）

27日～29日

インタッチ第4次支援隊 派遣（各市役所・放送局と防災についての意見交換、防災ラジオと自動起動装置の配布）

10月27日～31日

インタッチ第5次支援隊 派遣（大船渡市・宮古市で研修会を実施）

11月3日

「アイライトフェア 2011～東日本大震災から学ぶ視覚障害サポート～」で川越利信が講演（於 神戸市立葺合文化センター）

12月10日～12日

インタッチ第6次支援隊 派遣（宮古市で研修会を実施）

平成24年

2月24日～26日

インタッチ第7次支援隊 派遣（山田町・宮古市で研修会を実施）

メディア情報

●NHK「きらっといきる」

障害者の文化活動を紹介する、NHKの「きらっといきる」に生出演したインタッチの川越利信代表。インタッチ第1次現地調査・支援活動の報告や、災害時における視覚障害者支援のあり方を話した。平成23年3月25日、NHK大阪放送局で。



●東海新報



東海新報 提供
平成23年9月30日



東海新報 提供
平成23年10月30日

大船渡市・陸前高田市・住田町の地方紙である東海新報には、インタッチの活動が二度掲載された。左は、大船渡市の音訳ボランティアグループ「せきれい」への防災ラジオ配布に関して。右は、「せきれい」との研修会に関して。

●その他

- ・毎日新聞 平成23年4月3日 (左)
- ・読賣新聞 平成23年4月28日 (右)
- ・徳洲新聞 平成23年9月12日

インタッチ=JBSの初動支援に関する情報を掲載した機関紙「インタッチ・レポート」の第1～3号をJBSのHPからダウンロードすることができる。
(URL) <http://www.jbs.or.jp>



おわりに —語り続けたい—

プレハブ仮設の陸前高田市役所で女性職員が「(障害者のことが) 気になっているのですが、手が回らなくて…」と気まずそうに云った言葉は、不本意ながら実際にそうなのかもしれません。阪神大震災時にも、障害者の支援状況を問う私に「それどころではない…」と男性職員が答えました。その許し難い言葉が呑み込まれてしまうほどの状況であったのは確かです。

「遠からず起こると云われている大地震。被害をゼロにはできないでしょう。でも、備えれば被害を減らすことはできます」(朝日新聞、2012年7月14日)

災害時には、障害者や高齢者はより重い犠牲を強いられます。被害を軽くする減災の決めるには、現実には難しい。減災は、日常の備え次第です。しっかりした「自助」の考えに基づき、日頃からの隣人との人間関係が「共助」を形成し、減災に繋がります。

云うは易しく、20年も30年も備えを意識し、緊張を持続させるなど、そう容易なことではありません。そうこうして忘れた頃に、災害は牙をむきます。どう向き合えばいいのでしょうか。

インタッチ=JBSの力は実に小さく、ささやかな支援活動しか出来ません。ですが、今後もラジオを手段として情報支援を軸に被災地通いを続けようと考えています。

岩手県沿岸部の見えない・見えにくい人びとやボランティアの皆さん、そしてラジオに携わる人達と、足手まといにならないように共に歩き、共にこの時代を生きる、想いだけはそう持ち続けようと思います。そして、3.11や阪神大震災を風化させないよう、語り続けていきます。

引き続き、インタッチ=JBSの小さな活動を支えていただければ幸甚に存じます。

インタッチ代表 川越 利信



45号線沿いの景色を車中から眺めていると、JR山田線鶴住居駅近くを通りかかった辺りで心温まる看板が目に入り飛び込んできた。平成23年12月12日、釜石市にて。



震災10日後の宮古市沿岸部。平成23年3月21日撮影。



線路が寸断された大船渡市中心街。JR大船渡線・三陸鉄道南リアス線共に平成24年6月現在、未だ復旧していない。平成23年5月19日撮影。



高さ10メートル・総延長約2.5キロに及ぶ「世界一」の防潮堤。「津波防災の町」を謳う宮古市田老地区（旧田老町）のシンボルだったが、20メートルもの津波によって破壊された。平成23年10月30日撮影。

東日本大震災 視覚障害被災者
支援ネットワーク インタッチ
活動報告書

インタッチ・レポート
共歩共生の情報支援

編集担当者	川越 利信・金田 直樹・鈴木 遥
協力	社会福祉法人 岩手県視覚障害者福祉協会
発行日	平成24年7月31日
発行責任者	川越 利信
発行所	社会福祉法人 視覚障害者文化振興協会 J B S 日本福祉放送 〒534-0026 大阪市都島区網島町4-12 TEL 06-4801-7400 FAX 06-4801-7401 Mail studio@jbs.or.jp URL http://www.jbs.or.jp